

警備業における階段、栈橋を起因物とする死傷災害発生事例（2017年）

2017 年 発生 月	時間	死傷災害発生事例	年 齢	労 働 者 規 模
1	1～2	商業施設にて警備中、業務を交替する為、階段を2階から1階に下りる際に足がもつれてしまい、2階の踊り場（階段上部）から、階段下まで転落し、はずみで1階踊り場の壁面に衝突した。衝突した際、かぶっていた制帽のつば（プラスチック製）が割れて額を切ったほか、左膝を骨折してしまった。	43	300 ～ 499
1	18～ 19	所属している事業所が入居しているビル内に於いて、2階の階段から1階へ下りる際に、階段で足を踏み外して、約10段下に落ちて左腓腹筋を挫傷した。	54	50 ～ 99
1	17～ 18	巡回清掃中、長靴の底が階段に引っかかり踏み外し転倒した。すぐに痛みは引くと思っていたが痛みが引かず、打撲と診断されたが、歩くのも困難になり、後日に骨折であることが判明した。	68	100 ～ 299
1	20～ 21	出社して2階にある無線を取りに行き、外階段で1階に下りる時、手すりをきちんと持たず、足元をしっかりと確認しなかったため階段を踏み外し、滑って転倒し、左肩を骨折した。	73	—
2	1～2	就労先での警備巡回中に階段を下りていたところ、足を滑らせ下から3段目より床まで転落し、骨折した。	63	—
2	13～14	清掃を行っていた。東棟2階にトイレ清掃用具を取りに行くため、階段前防災ドアを開け、通り抜けたところ、足が滑り仰向けに転倒し、頭・背中・腰・尾てい骨等を強打した。	69	100 ～ 299
3	19～20	勤務交替の為、待機所を退出する際、4段階段で1段足を踏み外し受傷した。	37	10 ～

				29
3	12~13	勤務中、お客様の建物倉庫内で緊急対処していたところ、1Fへ下りる際に階段を踏み外してしまい、2Fから階段踊り場まで滑り落ち、床へ強打した。	39	10 ～ 29
4	19～ 20	休憩のため2階管制室より1階に下りる際、階段の5段目を踏み違えて右足首を負傷した。	25	100 ～ 299
4	21～ 22	病院の巡回業務において3号館の5階から4階へ下る際、踊り場まであと3段の所で踵をスリップ止めに引っ掛け、前のめりに踊り場へ転倒し、手をついたが顎肩胸を打ち負傷した。	51	500 ～ 999
4	20～ 21	館内巡回中、2階から1階に下りる階段において上段にて足を踏み外して転落し、体勢を立て直そうとして再度下段に転倒する。	34	30 ～ 49
4	1～2	ご契約先マンションで確認対応後、現場離脱する際に屋外の螺旋階段から足を踏み外して滑り落ちた。（3Fのおどり場から2段下りた辺りから、2・3階のおどり場までの約6段ほど。）次の現場に向かうために焦っていたことが原因である。	44	10 ～ 29
5	23～ 24	管理マンションの理事会終了後、自宅へ帰宅途中、駅の階段を降りていた際に左足ふくらはぎがブチッとなり激痛が走り、普通に歩けなくなった。	43	300 ～ 499
5	13～ 14	就業場所にて清掃作業中、外部階段の2階から1階へ降りる際に、階段のステップに足をとられ、3～4段分滑り落ちた。両手に荷物を持って降り、手摺りを持っていなかった。当初は腫れているだけだったが、痛みが治まらず、右足小指骨折であると分かった。	66	50 ～ 99
6	23～ 24	中学校校舎内にて巡回警備をしていた時に、2階から1階に階段を移動中、少し駆け足で階段をおりて、階段を踏み外して転倒した。	53	50 ～ 99
		受傷者は、工事現場へ向かうため、事務所を出て階段を下りる際、足を滑らせて階		10

6	8～9	段の真ん中付近から下まで転落し、右足の足首の上と腰の部分を骨折した。尚、 当時は雨が降っており、受傷者は長靴を履き、両手に業務用の荷物を持ちながら階段を下りていた為、不安定な状態であった。	36	～ 29
7	7・8	ビル巡回のため、バックヤードの地下に通じる階段を降りはじめ、階段最下部で足を踏み外し転倒した。自宅に戻る途中に足の痛み（右足首）を感じ始める。帰宅しても痛みが引かなかった。「足首にひびが入っており、6週間の自宅安静を要する」と診断される。	66	1～ 9
9	22～ 23	階段を現場に向かって上っていた時、階段の上の方から男性が落ちてきて自分にぶつかり、次の瞬間頭を打って足からはね上がり、一回転して床に叩きつけられた。後頭部と首を強く打ち、全身も打撲した、右の手がしびれている。	26	100 ～ 299
11	3～4	請負契約就業先の大学病院において、第三巡目館内夜間巡回に出発以降、通常の戻り時間を過ぎても戻らず、同僚が無線および本人のPHSへ呼びかけを行うも応答が無かったため搜索したところ、西病棟Bと総合外来センターとの間の地下1階荷捌所階段付近にて、頭部から流血し意識不明の状態で見つかった。直ちに同大学病院の救命ICUに搬送したが亡くなり、行政解剖が行われた。	67	30 ～ 49

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to : https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_11.html